

第46回野田村仮設住宅訪問活動（15/6/19）報告書

2015年7月16日／作成者 田代 仁（苦小牧）

1. 曰程・場所

曰 程：2015年6月19日（金）

訪問場所：岩手県野田村の仮設住宅3ヶ所（計78世帯）

野田中学校仮設住宅（59世帯） 10:30～ 集会所にてお茶会：参加14名

泉沢地区仮設住宅（11世帯） 13:10～ 集会所にてお茶会：参加 4名

門前地区仮設住宅（8世帯） 戸別訪問

2. 責任・企画担当者

代表者（事務局長）：林健一牧師（鮫）

企画担当：梅田りや（鮫）

3. 活動状況

今回のお茶会は、鎌倉半月に久留米の黒棒＆黒豆、それにかわいい手作りクッキーをお茶菓子に開催されました。戸別訪問のお土産は洗剤＆石けん、お茶会のお土産には化粧品までありました。こうして毎回用意されるお茶菓子やお土産をみていると、この活動を覚えてくださる全国の諸教会、そのお一人お一人の御祈りとご奉仕によって支えられていることに改めて気付かされます。



もうひとつ、今回のお茶会では八戸聖書教会の澤田師が、ドライヤーを使ったちょっとした工夫を紹介してくださいました。方法は思ったより簡単。ペットボトルのラベルを破かないようにできるだけ筒の状態のままはずし、手ごろなガラス瓶やアルミ缶などにはめてドライヤーをかけるだけ。ラベルが縮んで瓶に張りつき、オリジナルの容器が作れるというもの。ラベルが紅茶のコーヒー缶など、ちょっとしたいたずらに使えるかも…？

さて、この野田村仮設住宅訪問も今回で46回目。もうすぐ丸4年となります。特に最近は、仮設住宅を訪れるたびに入居者数が少しずつ少なくなっていることに気づかれます。2014年度当初は167世帯だったのが、今年度当初は99世帯。それから2カ月後の今回は78世帯。皆さんのが復興住宅に移るなり、自宅を再建されるなりして転居され、それぞれの新しい生活に向かって仮設住宅を後にされたことは喜ばしいと思う反面、これまで来られていた方の姿が見えず、少しずつお茶会の人数も減ってきてることに一抹の寂しさも覚えます。それはお茶会に集ってくださる方も感じておられることのようで、スタッフの一人は「一人になっても（お茶会）を続けてほしい」と声をかけられたそうです。



一方で、私たちはこの活動の終息点を見極める時期に入っていることも思われます。ただ単に「お茶会（傾聴ボランティア）」をはじめ、時期が来たのでそれを終える、というだけではなく、私たちがここに遭わされたことの意味に思いを致して祈っていくことの必要を思われました。

4. 参加者（3教会／7名）

- 鮫バプテスト教会 5名
梅田りや姉、鈴木勉兄、高田良子さん、
林健一牧師、吉田秀子姉
- 八戸聖書キリスト教会 1名
澤田隆一牧師
- 苫小牧バプテスト・キリスト教会 1名
田代仁牧師



5. スケジュール <6月19日（金）>

- 08:00 鮫バプテスト教会集合、派遣礼拝（説教：林健一牧師）集合写真
- 08:30 鮫バプテスト教会出発
- 10:00 野田中学校仮設住宅到着、設営・準備
- 10:30 茶話会（傾聴）並行して門前地区仮設住宅を戸別訪問
- 11:30 後片付け・掃除
- 12:00 昼食
- 13:10 泉沢地区仮設住宅到着、設営・準備
- 13:30 茶話会（傾聴）
- 14:30 後片付け・掃除
- 15:00 野田村出発
- 16:30 鮫バプテスト教会到着、分かち合い
- 17:00 解散

6. 持参したおもな物品

- 茶菓** 鎌倉半月：甲谷姉の友人からの献品
やわらか黒棒・甘納豆等：久留米荒木教会より献品
クッキー：中部連合有志教会
しろくまカフェ：田代牧師

- お土産** 化粧品と石けん（中部連合有志教会）、洗剤

7. 次回の予定：2015年7月17日（金）【企画担当：北海道（松坂師）、集合：鮫教会】